# 理工学部機械工学科

# 「航空操縦学専修 | 入試

### 理工学部機械工学科航空操縦学専修

# 般入試

# 募集人員 25名

出願資格 以下の(1)~(3)の条件をすべて満たす者。

- (1)下記のいずれかに該当する者。
- ①高等学校または中等教育学校を卒業、もしくは2019年3月まで に卒業見込の者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了、もしくは2019年3月 までに修了見込の者。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業 した者と同等以上の学力があると認められる者、もしくは2019年 3月までに認められる見込の者(P.43参照)。
- (2)以下のすべてに該当する者。
- ①裸眼または自己の矯正眼鏡使用により各眼視力が1.0以上であ り、各眼の屈折率が-4.5~+3.5ジオプトリー以内であること。
- ②オルソケラトロジー(コンタクトレンズによる屈折矯正術)による矯 正を行っていないこと。
- ③屈折矯正手術(角膜前面放射状切開手術、レーシック等)の既 往症がないこと。ただし、屈折矯正手術の既往歴があり、屈折矯 正手術から6カ月以上が経過した時点において、症状が安定し、 視機能が法政大学の出願資格の基準を満たしている場合は適 合とする。この場合において、手術記録を含む臨床経過のほか、 本学が指定する眼科専門医の診断により異常が認められないこ とを確認し、証明する書類を提出すること。
- ④次のa~cのいずれかの資格を有する者
  - a.TOEFL® TESTのOfficial Score ReportがiBT32点(PBT400点)以上で あること。ただし、2017年4月1日以降に受験したものであること。

- b.TOEIC® TESTのOfficial Score Certificateが430点以上であること。 ただし、2017年4月1日以降に受験したものであること。
- c.(公財)日本英語検定協会実用英語技能検定(CBT含む)準2級以上 に合格していること
  - ※TOEFL ITP®およびTOEIC® IPは利用できません。
- (3) 「平成31年度大学入試センター試験」において、指定された 教科・科目を受験する者。

入試情報サイトからダウンロード(7月中に更新予定)		
1月 5日(土)~1月18日(金)		
1月19日(土)、1月20日(日)		
2月 6日(水)		
2月 9日(土)、 2月13日(水)~2月16日(土) 上記日程のうち大学の指定する2日選考方法 ①書類審査(調査書、英語外部試験証明書) ②面接 ③操縦適性検査* *コンピュータを利用して、操縦操作の基本的能力や判断能力などを判定します。 ④航空身体検査		
3月 7日(木)		
3月15日(金)		

### ●第1次選考(平成31年度大学入試センター試験)の科目・配点

試験教科	科目	配点	備考
外国語	「英語」(リスニングテストを含む)	100	配点250点を100点に換算する。
数学	「数学I·数学A」	100	
<b>★X</b> 子	「数学Ⅱ·数学B」	100	
国 語 理 科	「国語」(近代以降の文章)、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択	100	左記指定科目のうち、高得点の1科目を合否判定に 使用する。ただし「理科②」は第1解答科目を使用する。
合 計	3教科4科目	400	

●過去の志願者・合格者数はP.48をご覧ください。

#### 自己推薦入試 理工学部機械工学科航空操縦学専修

# 募集人員 5名 出願資格 以下の(1)~(5)の条件をすべて満たす者。

- (1)一般入試(1)と同じ。
- (2) 一般入試(2)と同じ。
- (3) 高等学校もしくは中等教育学校後期課程(前期課程は含まな い) 3年1学期(前・後期制の場合は前期、既卒者の場合は卒 業時)までの調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者。
- (4)「物理」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」をすべて履修している者。
- (5)本専修で学ぶことを強く希望する者。

#### ●過去の志願者・合格者数

2018年度	志願者 14	1次合格者 11	2次合格者 6
2017年度	志願者 18	1次合格者 18	2次合格者 12

入試情報サイトからダウンロード(7月中に更新予定)
10月 2日(火)~10月12日(金)
書類審查 (調查書、英語外部試験証明書、志望理由書)
11月 1日(木)
11月 9日(金)、11月10日(土)の2日間 選考方法 ①面接 ②操縦適性検査* ③航空身体検査 *コンピュータを利用して、操縦操作の基本的能力や 判断能力などを判定します。
12月 4日(火)
12月18日(火)